

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

Strategic Business Innovator として革新的事業を創造し、事業を通じて社会の維持・発展に貢献する

グループ顧客基盤
1億件

連結税引前利益
5,000億円

海外事業割合
30%

ROE
15%

② 中長期の経営戦略

1. グループ証券口座数3,000万達成

ゼロ革命による顧客基盤拡大、オープン・アライアンス推進、若年層向けアプローチ強化で新規顧客層を開拓

3. 海外事業の税引前利益3割化

海外事業統括本部設立、東南アジア中心に金融サービス展開、3～5年で海外比率を2割から3割に引き上げ

2. 第4のメガバンク構想推進

SBI新生銀行を中核に、広域地域プラットフォームとして地域金融機関と連携し地域企業活性化を支援

4. デジタルスペース生態系構築

暗号資産事業を成長領域として位置付け、市場拡大に対応した投資環境整備に対応

③ 対処すべき課題

① デジタルテクノロジー導入と新サービス開発

- AI、ブロックチェーン、デジタルアセット等の先進技術への投資と活用
- アナログからデジタルへの時代転換に対応した戦略実行

② 顧客基盤・事業資産の拡大と進化

- 既存顧客基盤の活用と新規層開拓による5,000万件から1億件への拡大
- 事業領域・事業規模の加速度的な拡大

③ グローバルサウス地域での事業展開

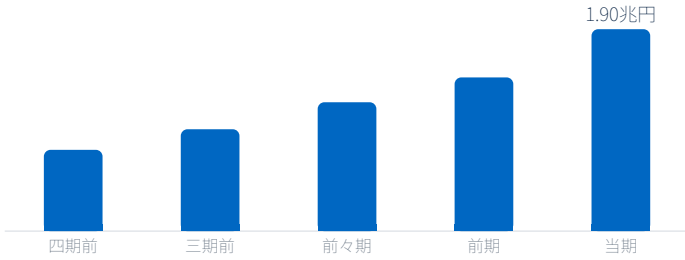
- 中東・アフリカ・インド等での有力パートナー提携と投資活動
- 日系企業の地産地消対応による東南アジアでの資金需要取込

面接で使えるポイント

- 創業20周年から25周年の5年間で顧客基盤約2倍の5,000万件超…
- ゼロ革命による証券手数料無料化で短期間に口座数著増し、企業生態系全体の成長原動力となった事例
- 2029年3月期に顧客基盤1億件、税引前利益5,000億円、海外事業比率30%を目指す新中期ビジョン

証券コード 8473

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
1.90兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
30点 / 100点

要するに

1999年設立の金融持株会社であり、東京証券取引所プライム市場に上場しています

主力事業・セグメント

- 金融サービス 82.3%
- PE投資 8.2%
- Crypto資産 4.7%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高1.90兆円の大企業
- 将来性評価は晴れ
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 64.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,007万円

平均年齢

41.3歳

平均勤続

5.7年

女性管理職

26.9%

男性育休

80.0%

証券、商品先物取引業内 12位/36社 証券、商品先物取引業内 27位/36社 証券、商品先物取引業内 26位/36社 証券、商品先物取引業内 1位/19社 証券、商品先物取引業内 9位/16社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 株式変更報告モイ(21.59%→20.41%) S B I ホールデ

